

第3学年

国語科学習指導案

日 時
学 級
授業者

平成28年 5月23日(月)第5校時
大和小学校3年 32名

1 単元名

1 場面のようにすを思いうかべ、音読しよう「きつつきの商売」

2 単元について

3年生での初めての物語教材である。小学校学習指導要領国語編の第3・4学年における「C読むこと」の指導事項には、音読に関しては「ア 内容の中心や場面の様子がよくわかるように音読すること」とあり、さらに文学的な文章の解釈に関しては「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと」とある。登場人物の言動から場面の様子を想像することは、物語文の学習においての最も基本的な内容である。「きつつきの商売」本文は「1」「2」の二つの対照的な場面から構成されていて、場面の違いに着目するには適当な作品であると言える。本単元では、児童が構成や叙述を細やかにとらえられるように心がけて指導をしていきたい。

本校の児童の特性として、物語文の音読では登場人物の気持ちを考え、その人物になりきって音読をすることができるよさがある。反面、文章の叙述に注意しながら場面や様子を豊かに読み取っていく力に弱さを感じる。昨年から『読み取りの技』を使った指導を行っているが、その意味でも発達段階に応じた読み取りの指導とその累積が必要であると考えている。

指導にあたっては、2つの過程を大切に行っていきたい。1つ目は、内容の中心や場面のようにすを掴むために、叙述を基に想像する過程である。「1」「2」の二つの場面の様子を比べたり、つないだりしながら読むことを指導していく。また、この物語の特徴の一つでもある擬声語の表現にも着目させていく。2つ目は、音読のポイントを学ぶ過程である。声の強弱、速さ、高さや間など音読についての基本的な内容を押さえる場を前時までに設け、児童が実際に活用しやすいよう具体化しながら提示していく。さらに、単元の出口の活動として、「音読発表会」を設定し、交流しながら、一人一人の音読のよさを伝え合う活動とする。

3 本時の指導にあたって

(1) 言語活動の充実を図る単元指導計画の工夫

『きつつきの商売』には会話文や擬声語・擬態語など、声に出して楽しんで学習できる表現が多く、音読の学習という側面から言っても、学習に最適な作品である。学習の出口の活動に「音読発表会」を設定し、その活動を意識しながら毎時間、音読練習の時間を設定する。場面の叙述に着目しながら場面や登場人物の心情や様子の読み取りにつなげ、音読の工夫を重ねていくよう指導計画を設定する。

(2) 根拠をもとに自分の考えをもつための指導の工夫

「擬声語」は、自身の生活体験と結びつけて感覚的に考えやすい言葉である。本文中の様々な擬声語に着目させ、自分自身の生活体験を想起させる中で、多様な意見が児童から挙げられるようにする。そのために「1」「2」の二つの場面の様子を比べ、その場面の違いを考えさせることのできるワークシートとなるよう配慮する。また、よく似た「擬声語」の語感の違いや記述のあるなしでの意味の違いにも触れる中で、その風景や現象について類推させる。

(3) 考えを深め、広めるための交流の場や形態の工夫

本文中の記述や擬音語などの表現に着目し、読み方の工夫について考えさせる。音読の工夫がわかりやすいように、教材文をワークシート化したプリントに読み方を書き込んでいく。擬声語については、それぞれの様々な感じ方の違いが発見されることであろう。それぞれの感じ方の違いや受け止め方についてもグループ内で交流し、どのように音読で表現するかについて議論させることで、より深い理解につなげられるようにする。また、深めの発問の「『雨の音につつまれている』とはどんな感じですか？」につなぐため、導入の段階で前時での学習に立ち戻り、確認しておく。

3 単元指導計画

「きつつきの商売」 (全8時間)

【単元の目標】

- 場面の様子や違いに注意しながら、音読を工夫し、発表することができる。【読む能力】(1)ア・ウ
 ○言葉には、人物の気持ちや行動をあらわす働きがあることに気付くことができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】(1)イ(ア)

(1) 単元で身につけたい力 単元の評価規準

- 【関】物語の場面の様子に合わせて音読を工夫し、進んで発表しようとしている。
 【読】・声の出し方(声の強弱、速さ、高さ、間 など)に注意し、物語の場面の様子や違いを意識して音読を工夫している。(1)ア
 ・場面の様子を捉え、登場人物の行動やそのときの様子を読み取っている。(1)ウ
 【書】想像したことが伝わるように必要な事柄を整理して書いている。(1)ア・カ
 【言】言葉から、人物の気持ちや行動を想像している。(1)イ(ア)

(2) 指導計画

次 / 時	ねらい	主な学習活動と学習課題	「読み取りの技」と 着目させたい語句・叙述
1	単元名とリード文から、話の内容を予想したり、学習目標を確認し、学習課題と学習計画を設定したりすることができる。	「きつつきの商売」の学習計画を立てよう。 - 学習内容と目標を確認する。 - 題名から主人公や商売を想像し、全文の範読を聞く。 - 学習課題を設定し、学習計画を立てる。 場面のようすを思いうかべて音読を工夫し、音読ではっぴょう会をしよう。 「ともだちや」「あらしのよるに」「風の草原」「森のおくの小さな物語」などの本に出会う。(並行読書)	「場面」 物語の中で、人物のすることやまわりのようすが、ひとまとまりになっているぶん。 「登場人物」 物語の場面に出てくる人物のこと。
2	叙述に着目して「1」「2」の2つの場面を比べて情景や登場人物の変化を見つけ、ワークシートに整理することができる。	「1」「2」の場面に書かれたことをせりりし、場面のようすをくわしくつかもう。 - 学習のゴールを意識させ、「1」「2」の場面での場所、天気などの違いや、登場人物のしたことに着目し、整理する。 - 読み取ったことを基に、グループで音読の練習を行う。	「ぶなの木の上(木の下)」「雨の日」(場所・天気) 「開いた」「作った」「書きこんだ」「聞かせた」「選んだ」「聞いた」「やってくる」(したこと) 「コーン」「シャバシャバ...」「バシバシ...」「バリバリ...」「ドウドウ...」「ザワザワ...」(擬音語)
3	野うさぎときつつきの様子を読み取り、ぶなの木の音「コーン」が森にこだましているのを野うさぎがうっとりと黙って聞いていることに気付き、工夫して音読することができる。	「おとや」に一番に来た野うさぎが聞いたぶなの木の音を、音読でくふうして表そう。 - 登場人物や「2」との場面の違いなどを明らかにし、野うさぎときつつきの様子をどのように音読するか考える。 - 場面の様子を思いうかべて音読する。 - 読み取ったことを基に、グループで音読の練習を行う。	「木の下に」「てっぺん近くのみき(木の上)」「(場所)」 「力いっぱいたたき...」「ぶなの森にこだまし...」「うっとりと...」(動き・様子) 「コーン」(擬声語) 「見上げたまま」「だまって聞いて...」「うんと長い時間がすぎて...」(動き・様子)
4	野ねずみの家族ときつつきの様子を読み取り、野ねずみの家族が念願の「おとや」によく訪れることができたことに気付き、期待いっぱいの野ねずみの家族の心情をくふうして音読することができる。	「おとや」をおとずれた野ねずみの家族の気持ちがわかるように、音読でくふうしよう。 - 登場人物や「1」との場面の違いなどを明らかにし、雨に降られてしまいやりたいことができない野ねずみの家族の思いやにぎやかな様子、きつつきの様子について話し合う。 - 野ねずみの家族がどのような思いで「おとや」を訪れているのかについて確認する。 - 場面の様子を思いうかべて音読する。 - 読み取ったことを基に、グループで音読の練習を行う。	「へえ」(くりかえし・会話文) 「とくべつメニュー」「うんがいいぞ」「ますますうんが...」「今日やっと、はじめて...」「朝からの雨で...」「...も」「だから、ひとつ、聞かせて...」(会話文) 「子どもたちも、口々に...」「そろって、うれしそうに...」(動き・様子)

5 本時	野ねずみの家族が特別メニューの音を聞いている場面を読み取り、「そこら中のいろんな音がいちどに」の表現に着目し、野ねずみの家族が心地よく音に包まれていることに気づき、その「雨の音」を工夫して音読することができる。	・「おとや」を訪れた野ねずみの家族の思いについて振り返る。 ・「とくとく、とくべつメニュー」の音について確認する。 野ねずみの家族が聞いている「雨の音」を、音読でくふうして表そう。 ・「そこら中のいろんな音がいちどに」に着目し、擬音がどのような音なのかを想像して話し合う。 ・「『雨の音につつまれていた』ってあるけど？」と問い直すことで、野ねずみたちが雨の音につつまれ、うっとりと聞き入っている様子に気付かせる。 ・読み取ったことを基に、グループで音読の仕方を話し合い、練習を行う。	・「とくとく、とくべつメニュー...」 ・「さあ、おねがい...」(会話文) ・「きらきらしたきれいな目をそらして...」「目をとじ...」(動作) ・「しいんと...」「にこにこ」(擬態) ・「そこら中のいろんな音がいちどに聞こえてきました」(叙述) ・「ぶなの葉っぱの」「地面からの」「葉っぱのかさの」「森のずっとおくふかくから」(叙述) ・「にこにこうなずいて」「目を開けたり...」「雨の音につつまれていた」(動作) ・「ずうっとずうっと」「音につつまれて...」(叙述)
6	音読発表会を意識し、好きな場面をグループで選んで役割分担をし、場面の様子が伝わるように音読の工夫をするなど、音読発表のための準備を行うことができる。	すきな場面をえらび、場面のようすがつたわるような音読のくふうを考えよう。 ・音読発表会を意識させ、好きな場面をグループで選んで役割分担をし、音読発表のための準備を行う。 ・声の大きさ、速さに加え、強弱や抑揚、高低、間のとり方の大切さについて考える。 ・評価カードを使い、今日の練習を振り返る。	・場面の様子を考える
7	音読発表会を行い、考えた工夫が伝わるように音読で表現すると共に、それぞれの工夫を見つけることができる。	場面の様子が伝わるように音読しよう。 ・発表の形式や進め方を確認する。 ・グループ毎に工夫するところを紹介し、発表会を行う。その後、全体の振り返りを行う。	
8	音読発表会を振り返り、学習した音読の工夫を押さえることができる。	発表会を振り返り、できるようになったことをたしかめよう。 ・物語の読み方と音読の技能について振り返り、まとめる。	

(3) 単元を貫く言語活動 音読発表会をしよう

単元の課題「場面の様子や違いに注意しながら、音読を工夫し、発表することができる。」

目的意識 場面の様子を伝えるために 相手意識 クラスの仲間に

方法意識 音読を工夫して 場面・状況意識 音読発表会で発表する

評価意識 想像を広げ、読み取ったことを元に、様子がわかるように音読をすることができたか

4 本時のねらい

野ねずみの家族が特別メニューの音を聞いている場面を読み取り、「そこら中のいろんな音がいちどに」の表現に着目し、野ねずみの家族が心地よく音に包まれていることに気付き、その「雨の音」を工夫して音読することができる。

5 本時の展開（ 5 / 9 ）

	学習活動と児童の姿	願う児童の姿を具現するための指導・援助
		根拠をもとに自分の考えをもつための指導の工夫：ア 考えを深め、広めるための交流の場や形態の工夫：イ
つかむ / 考える / 深める / まとめる	1 「おとや」を訪れた野ねずみの家族の様子について前時を振り返る。	イ 児童が深めの発問について考えられるよう、野ねずみの家族が雨に降られ、家族総出でようやく念願の「おとや」を訪れ、初めて聞かせてもらえる音に期待いっぱいであることを確認するため、前時の学習の振り返りをする。 ア 文中の様々な擬声語に着目させ、雨の日に差した傘に雨つぶの当たる音や、雨どいを流れる雨水の音声を準備して実際に聞かせる。自分自身の生活体験を想起させることで、児童から多様な意見が出るようにする。 イ 野ねずみの家族が「雨の音」を聞いている様子が描かれているところに着目させ、擬声語を音読で表現するには、それを聞いている心情にも目を向ける必要があることに気付かせる。 イ 『音につつまれていた』という語感に着目させ、その音の心地よさの中にすっかり入り込んでしまっている野ねずみの家族の様子に気付かせる。
	2 「2」の場面の後半を読み、「とくとく とくべつメニューの音」について確認する。	
	3 課題をつかむ	
	課題 野ねずみの家族が聞いている「雨の音」を、音読でくふうして表そう。	
	4 「とくべつメニュー」とは何の音でしょう？ 「シャバシャバシャバ」葉っぱに雨が当たる音。 「パシパシピチピチ」水たまりに滴が落ちる音。 「パリパリ」野ねずみの傘に当たる雨の音。 「ドウドウドウ」「ザワザワザワ」 ずうっと奥深くから聞こえる音。 「そこら中のいろんな音が、いちどに聞こえてきました」深いぶなの森のあちこちから音が聞こえてくる。	
	5 野ねずみの家族はどんな様子で聞いていますか？ ・目を開けたり閉じたりしながら、しいんと黙って。 ・ずうっとずうっと、雨の音に耳を澄ませて。 深めの発問 『雨の音につつまれていた』とはどんな感じですか？ ・楽しみだった音に、静かにひたっている感じ。 ・家族がみんなで、音の心地よさを楽しんでいる。	
	6 「雨の音」を音読で表現する方法の工夫についてまとめる。	
	ねらいを達成した具体的な児童の姿 野ねずみの家族が、しいんとだまってずうっとずうっと聞いていた「雨の音」だから、小さな声で読むとよいと思う。 野ねずみたちが楽しんで聞いている「雨の音」だから、何人かでにぎやかに読めるようにしたい。	
	7 「雨の音」の音読を、グループで練習する。 ・いろんな音が一度に聞こえるから、分担がいるよ。 ・僕たちは音をささやくように読みたいな。	
	8 音読の発表を抽出した1組が行う。 ・僕たちは……を表すために、……を工夫して読みたいです。	イ 読み方 → そう考えた理由 の形式で発言する。 登場人物の会話や言動を表している文章表現を基に、その心情や状況を想像することができる。 「認識力」
	9 次時の予告	